



NP0法人才オタカ保護基金

サシバの里自然学校

遠藤 隼

サシバの里自然学校の柱は3本

守る 遊ぶ 伝える
保全 × 遊び × 教育
= 自然学校

保全×遊び×教育 = 自然学校

里山を適正に維持管理する



保全 × 遊び × 教育 = 自然学校

自然とともに遊ぶ



保全×遊び×教育 = 自然学校

能動的な遊び方を伝える



サシバの里自然学校の体験型環境教育プログラムのねらい

自然に親しむ心を育む
(自然保護の芽を育てる)

2020年 コロナ禍での対応

ネットで生きもの塾（オンライン自然観察）

4月29日（水曜日） 下 里 新 里 第3種郵便物認可

ネット前の親子 みんな注目！ 生きもの塾 ON AIR

【市貝】子や親に里山の自然体験を提供している市貝町の「サシバの里自然学校」は19日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できない体験プログラムに替え、参加者のいない観察会の映像をインターネットで生配信する「ネットで生きもの塾」の試みを始めた。視聴者の反応も生で届き、「気分を発散してもらえた。今後週1回程度観察会を続けたい」と手応えを感じている。

「ぜひコメントを書いてください」と呼び掛けて始まったフェイスブックによる生配信観察会の参加者は、撮影する遠藤校長（36）と学校の人気生きもの講師「ノブさん」こと高橋伸拓さん（46）の2人。子どもたちの姿はなく、ウグイスとカエル声だけが新緑の谷津田に響いた。

学校裏手の谷津田周辺の池や小川には多くの生物がいる。ノブさんが水中で網を操り、ドジョウやクロダハゼなど魚類やミズカマキリ、ヒメゲンゴロウなどの水生昆虫を次々に捕まえる様子が、ノブさんの解説や2人の楽しげなやりとりとともに1時間配信された。遠藤校長が構える撮影用のスマ

市貝・サシバの里自然学校



スマートフォンには「いいね」の反応が続々集まり、産卵前の雌のニホンアカガエルが捕まると「おなかを見せて！」のリクエストも。それに応じてノブさんが体を裏返し「真っ赤だ！」と2人そろって驚く様子が生き生きと配信された。県内に緊急事態宣言が出て同学校のプログラムも中止している。遠藤校長は「配信を見れば親子の会話も弾むのでは」と期待する。

新型コロナの影響に苦慮する同学校のようなエコツアー主催団体が同様のネット生配信を行う例は全国でもまだ少ないという。遠藤校長は「活動の宣伝効果も高い。プログラムを再開できるまで続けたい」と話した。25日には遠藤校長と遠藤孝一オオタカ保護基金代表親子によるバードウォッチングを配信した。5月2日には3回目の「生きもの塾」を配信する予定だ。

昆虫を見せる生きもの講師のノブさん

センター

4月上旬 フェイスブックライブでのオンライン配信を開始

ネットで生きもの塾

- 2020年3月下旬 新型コロナ感染拡大の影響により
対面での自然観察会ができなくなってしまった。

季節は待ってくれない。

今、この瞬間の景色を届けたい。

ネットで生きもの塾

4月～5月 毎週土曜日配信



6月からは対面での観察会が再開されたため隔週で実施中
 総再生回数 4 0 0 0 回以上 (2020年6月末)



サシバの里自然学校さんの動画
 4日前・再生254回
 👍❤️😄 高橋 昌雄、遠藤 真、他53人



ネットで生きもの塾9
 5日前・再生352回
 👍❤️😄 55



早回し！麦刈りコンバイン
 2週間前・再生253回
 👍❤️😄 高橋 伸拓、磯川 茂亮、他57人



ネットで生きもの塾5/9
 6週間前・再生1,026回
 👍❤️😄 92



#遊びのバトン OOと遊ぼう
 7週間前・再生1,591回
 👍❤️😄 久松 信介、高橋 伸拓、他53人



ネットで生きもの塾3
 7週間前・再生577回
 👍❤️😄 72



ネットでいきもの塾6/6
 2週間前・再生609回
 👍❤️😄 65



ネットで生きもの塾8
 4週間前・再生824回
 👍❤️😄 高橋 昌雄、高橋 伸拓、他84人



ナナフシ類の子どもはダンスが上手♪
 #サシバの里自然学校 #ふわふわ踊...
 5週間前・再生345回
 👍❤️😄 高橋 伸拓、多田 由希子、他60人



生きもの塾 サシバの観察
 8週間前・再生478回
 👍❤️😄 高橋 昌雄、久松 信介、他44人



ネットで生きもの塾⑩
 8週間前・再生371回
 👍❤️😄 74



ネットで生きもの塾1
 9週間前・再生939回
 👍❤️😄 95



ネットで生きもの塾5/16
 5週間前・再生742回
 👍❤️😄 高橋 伸拓、遠藤 康子、他83人



オ、オ、ル、リ！
 6週間前・再生215回
 👍❤️😄 高橋 昌雄、高橋 伸拓、他41人



【サシバの田んぼ 水の管理🌾】 #サ
 シバの里 #サシバの田んぼ #水の管...
 6週間前・再生263回
 👍❤️😄 高橋 伸拓、遠藤 真、他38人

YouTubeという選択肢もあるのでは？

- YouTubeの肝は、トリミング、効果音など動画編集技術
→ユーチューバーは動画編集に多くに時間を割いている。
- インタープリター（自然ガイド）として、ライブで勝負したい。
→ライブ配信ならば撮影時以外に作業時間がない。（手間がかからない）



栃木県内の自然体験活動団体向け 新型コロナウイルス感染症感染拡大 に関する影響調査

実施団体 とちぎ自然体験活動ネットワーク準備委員会

とちぎ自然体験活動ネットワーク準備委員会

- ・代表：遠藤隼（サシバの里自然学校）
- ・塚本竜也（トチギ環境未来基地）
- ・塩澤達俊（とちぎYMCA）
- ・大木本舞（とちぎコミュニティ基金）

調査の目的及び概要

・目的：多様性に富んだ豊かな自然は栃木県を代表する大きな地域資源です。しかし、その自然環境を活かし、守り、伝えながら懸命に活動している県内の自然体験活動団体への支援はこのコロナ禍において十分に行われておりません。このアンケートを通して、コロナ禍における県内の自然体験活動団体の活動・経営の現状を把握し、課題を明確にすることを目的としています。

回答期間：9月4日～9月26日（土）23：59

対象団体：栃木県内に所在を置き、定期的に自然体験活動を実施している団体

回答数：28件

調査方法：ウェブアンケートでの実施

実施団体：とちぎ自然体験活動ネットワーク準備委員会

実施協力：とちぎボランティアNPOセンター ぽぽら

調査結果の要約

- 約8割の自然体験活動団体において「経営に影響が出ている」と回答され、約半数の団体で100万円以上の売上減少が見られる。
→経営難に苦しんでおり、金銭的な支援が必要
- この8ヶ月間で約28000人の自然体験の機会が失われている。
→心身の活力低下、環境問題やSDGsへの関心低下が懸念される
- 体験の場を減らさないためにガイドラインを設け対策しながら継続して実施している団体も多く、継続するための活動PRの場や情報発信の機会を求める声が多い。
→利用促進のための支援策を求めている

コロナ2万8000人に影響

国内の自身体験型施設が新型コウノイルス感染症の難題をどう解決するか、自身体験プログラムなどの中止や延期によって今年一冬の日付がズレてきた。多くの人が自然体への参加機会を失ったことになった。アグロトを象徴した「シバ」の里自然学校・校長藤原幸子さんは「子どもを中心に、山の野村下や山頂で遊ばれ、周囲関係への関心も養われる」と強調する。

(森田博)

環境への関心低下懸念

アンケートは返答率を
代案として利用する
ことだ。役員候補生
トウキョー労働組合が告
白より2日ほど、ウエサ
イで行った。経営者側
関係者もさまざまな面での強
固な立場がある。
経営者と連れた「調査出
ている」とされた公団の
元役員が、「何年かし

やイベントなど多
くできなかった頃、運賃
でまかなうロゴを全
体株主に知らせる新告知
は国庫自給制減税への
ツケ人になった。

中には公務員に限め
た人にしかサービスを受
け得る男性千人に上
ると見られる。この種
の集まりにはあまりい



魚類や水生昆虫を採まえる自然体験をする子どもたち。今年は多くの体験やイベントが中止になった＝昨年8月、市貝町市場のセシバの里自然学校

日本環境教育フォーラム

[illegible]

「体動活動を提供する環境で何らかの形がネットワーキングをつくり、連携して対応を求めている」と感じました。

**1624万円を
鹿沼市返納方針**
過大請求 検査指摘指摘
鹿沼市は18日、会計検査
院の2009年度決算検査
報告書で過大請求と指摘され
た、市立図書館の建築事業に
関する1624万4千500円につ
いて、国に返納する方針を
明らかにした。

地域の幼児教育機関と連携した
里山環境を活用した体験型環境教育プログラムの評価
～地域のこどもたちへ自然体験を～



- ・ 実践調査の概要
(私自身の宇都宮大学大学院の修士研究の一環として実施)

目的

幼児期の里山での遊びが自然環境への興味関心を深め、環境教育的効果があり得るかを検証することを目的とする。

対象

認定こども園 1幼稚園 年長児 (29名)

1年間 (全7回) を通した「生き物探し」を軸とした自然体験プログラムを検討し、園児たちの生き物への興味関心の変容を観察していく。

調査・評価方法

① 事前事後保護者へのアンケート

園児の家庭環境や自然とのふれあいの経験を調査する。

② 保育士へのインタビュー

体験中や園での日常生活の中で、体験後の変容を調査する。

③ 体験後の描画（お絵かき）

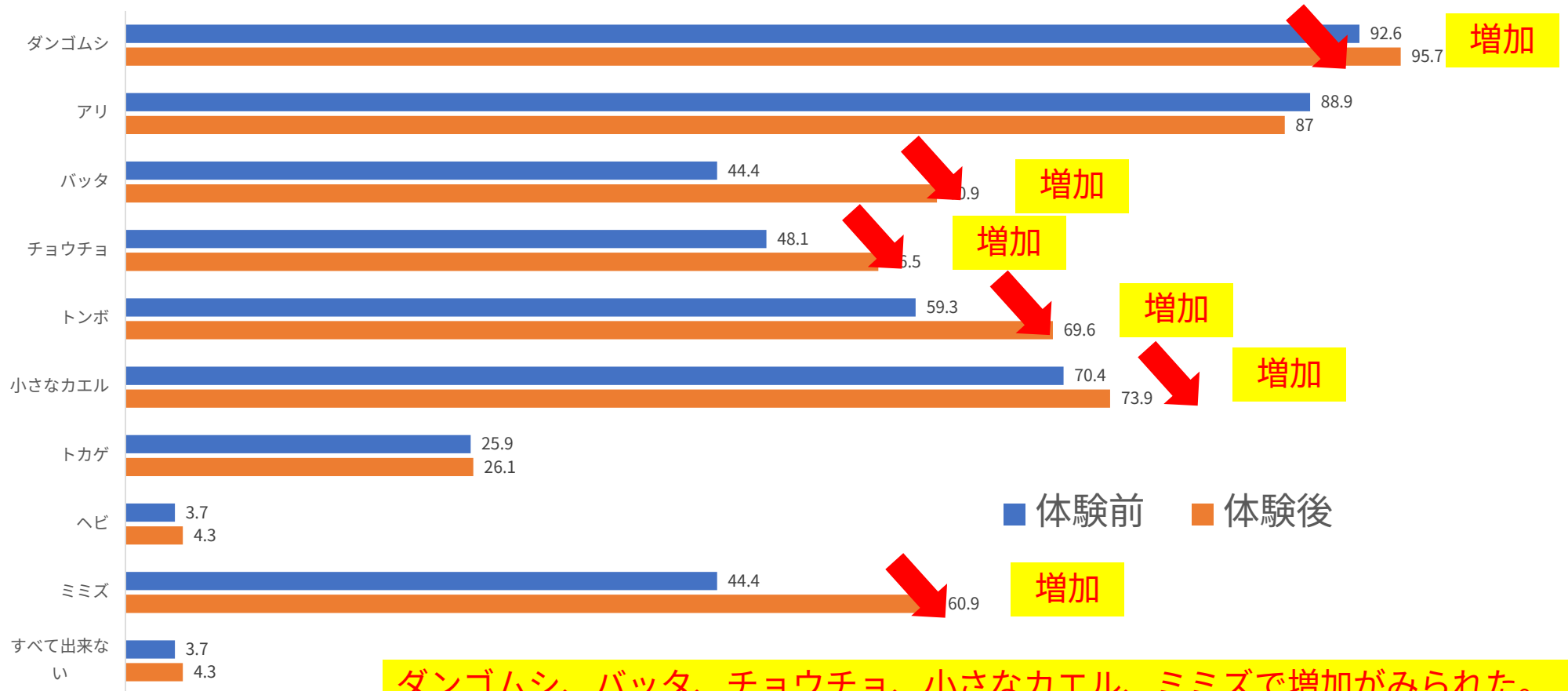
内面の心情変化を調査する。

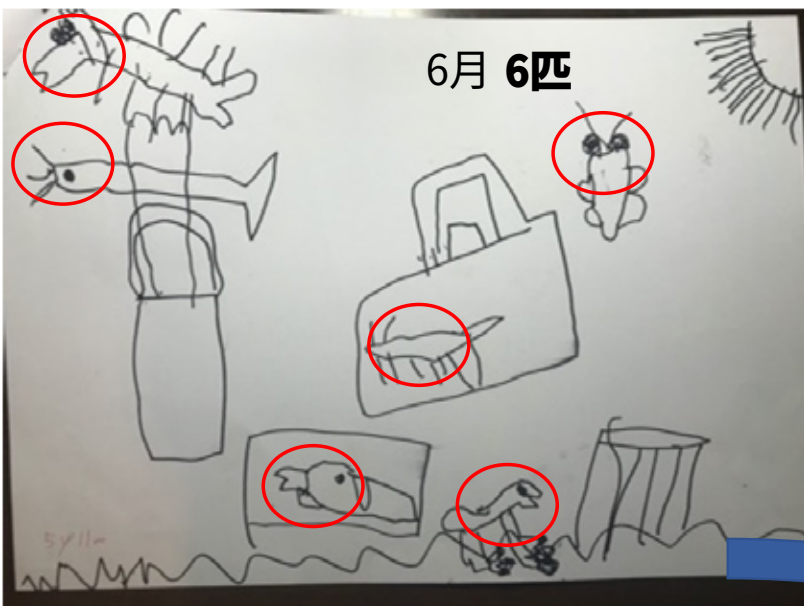




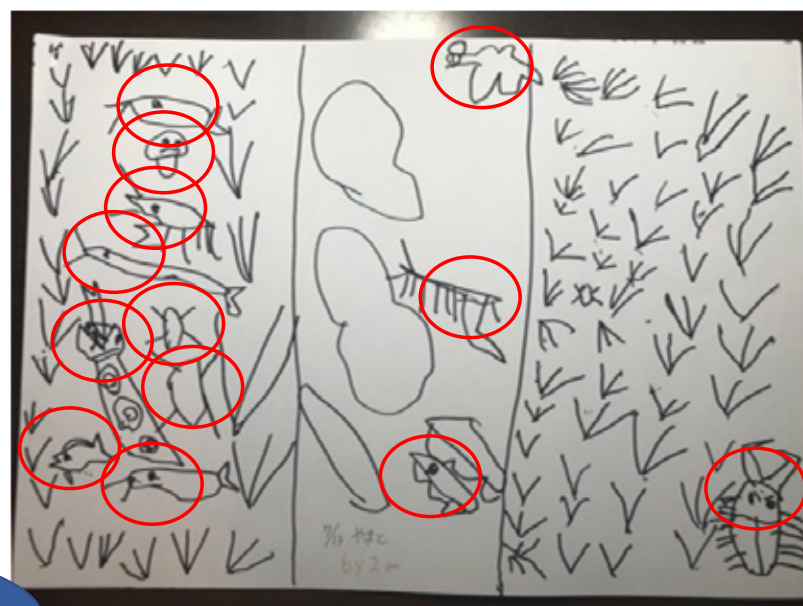
【保護者アンケート】

自然体験プログラム前後の「園児が自ら捕まえられる生き物」の変化





6月 **6匹**

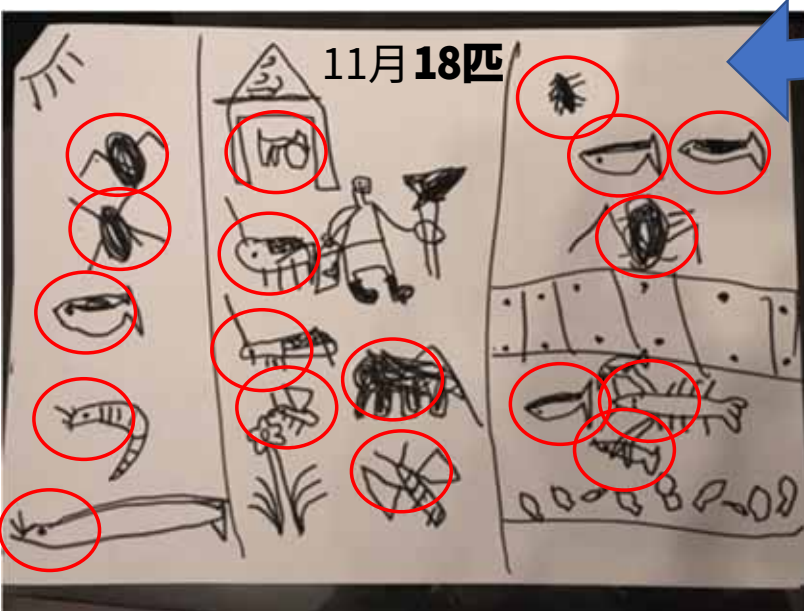


7月 **13匹**

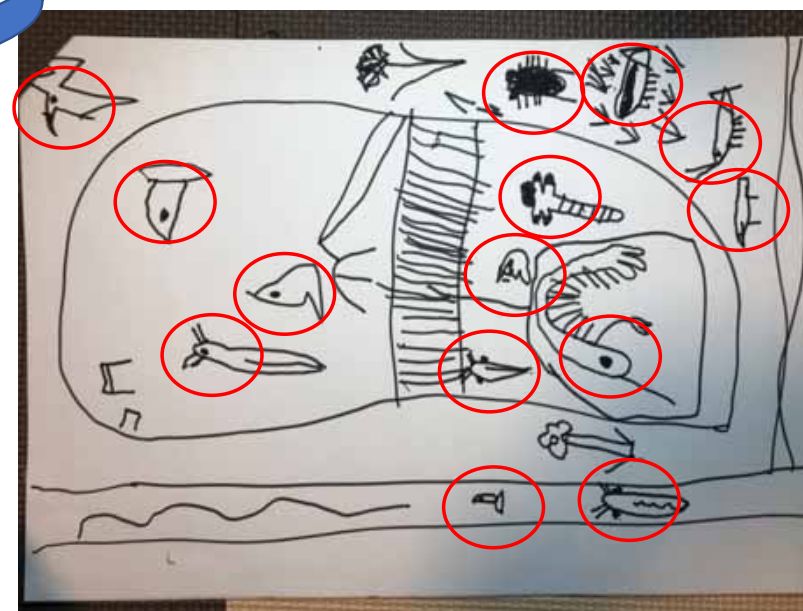
**B男の体験後
の描画**

余白が減っている

描かれている生き物の
数が増えてる



11月 **18匹**



10月 **14匹**

生き物への興味関心が
増している様子が
うかがえる

今後の展望

オンラインを活かして参加対象の幅を広げたい！

県内の自然環境を活かした自然保育や自然体験を盛り上げたい！！